

取扱説明書

セレックスバルブ

4L2-4

マニホールド

LMF0-T0

- 製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
- 特に安全に関する記述は、注意深くお読みください。
- この取扱説明書は、必要な時にすぐ取り出して読めるように大切に保管しておいてください。

本製品を安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくためには材料、配管、電気、機構などを含めた空気圧機器に関する基礎的な知識(日本工業規格 JIS B 8370 空気圧システム通則に準じたレベル)を必要とします。

知識を持たない人や誤った取扱いが原因で引き起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。

お客様によって使用される用途は多岐にわたるため、当社ではそれらすべてを把握することができません。ご使用条件によっては、性能が発揮できない場合や事故につながる場合がありますので、お客様が用途、用法に合わせて製品の仕様の確認および使用法をよく理解してから決定してください。

本製品には、さまざまな安全策を実施していますが、お客様の誤った取扱いによって、事故につながる場合があります。そのようなことがないためにも、**必ず取扱説明書を熟読し内容を十分にご理解いただいたうえでご使用ください。**

本文中に記載してある取り扱い注意事項とあわせて下記項目についてもご注意ください。

注意

- シリアル伝送子局のアドレス設定値を不適切な値に設定された場合電磁弁及びシリンダ等の誤動作につながる場合がありますのでアドレス設定値をよく確認してからご使用ください。
- 電気配線接続部(裸充電部)に触れると感電する恐れがあります。配線時には必ず電源を切ってから作業をしてください。また、濡れた手で充電部を触らないでください。
- シリアル伝送子局の使用にあたっては必ず使用する通信システムの取扱説明書を熟読し、内容を十分に理解したうえでご使用ください。

目 次

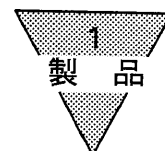
セレックスバルブ 4L2-4

マニホールド LMF0-T0

取扱説明書No. SM-11219

1. 製品に関する事項	
1.1 仕 様.....	1
1.2 内部構造概略	2
1.4 外形寸法	4
1.4 基本回路	6
2. 注意事項	
2.1 使用流体について	10
3. 操作に関する事項	
3.1 動作説明	11
3.2 電気信号以外でこの電磁弁を動作させたい場合	13
4. 据付けに関する事項	
4.1 配管について	14
4.2 配 線	16
4.3 取 付	17
5. 保守に関する事項	
5.1 分 解	18
6. 形番表示方法	22

注：各頁、頁番号横のゴシックブラケットに入った記号番号及びイラスト近傍の
記号番号(例 [C2-4PP07]・[V2-503-B] など)は本文と関係のない編集記号です。



1. 製品に関する事項

1.1 仕 様

1) マニホールド仕様

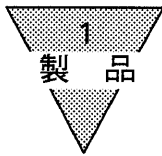
項 目	仕 様	
マニホールド方式	マニホールドブロック方式	
適用電磁弁	4L2-4シリーズ	
連数	2連～10連	
マニホールドの種類	集中給気、集中排気	
周囲温度 ℃	-5～60 (但し凍結なきこと)	
周囲湿度	35～85%RH (結露なきこと)	
使用雰囲気	腐食性ガスなきこと	
使用流体温度 ℃	5～60	
接続口径	吸気ポート (P)・排気ポート (R ₁ ・R ₂)	シリンダポート (A・B)
	Rc 1/4	Rc 1/8、Rc 1/4

2) 電磁弁仕様

形番 位置ソレノイド	4L2-4				
	FG-S 2位置 シングル	FG-D 2位置 ダブル	FHG-D 3位置 オールポート ブロック	FJG-D 3位置 A・B・R接続	FIG-D 3位置 P・A・B接続
使用流体	圧縮空気				
最高使用圧力	0.97				
最低使用圧力	MPa	0.1	0.15		
保証耐圧力	MPa	1.47			
有効断面積	mm2	15			
応答時間	msec	30以下	60以下		
手動装置	ノンロック式(標準)				
給油	不要(給油される場合はタービン油第1種ISO、VG32をご使用ください)				
動作方式	パイロット(ソフトスプール)				
保護構造	IP-40相当				

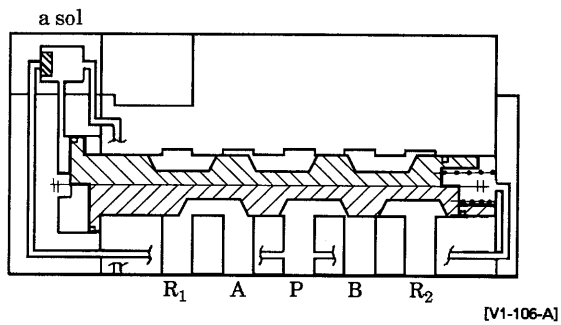
3) 電気仕様

項 目	仕 様		
定格電圧 V	AC100V (50/60Hz)	AC200V (50/60Hz)	DC24V
起動電流 A	0.056/0.044	0.034/0.026	0.08
保持電流 A	0.028/0.022	0.017/0.013	0.08
消費電力 W	1.8/1.4	2.1/1.6	1.9
その他	ランプ・サージキラー (オプション)		

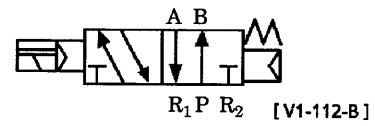


1.2 内部構造概略

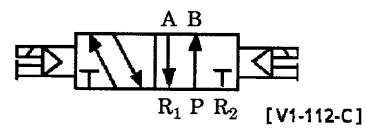
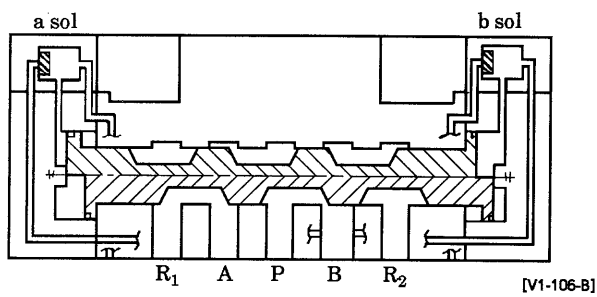
1) 4L2-4-FG-S



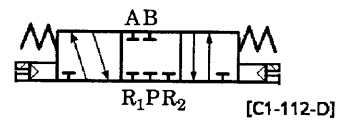
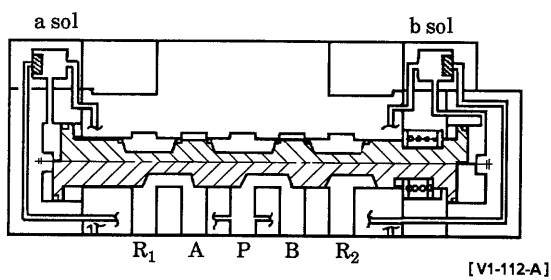
JIS記号

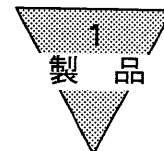


2) 4L2-4-FG-D

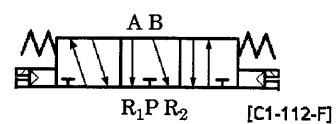
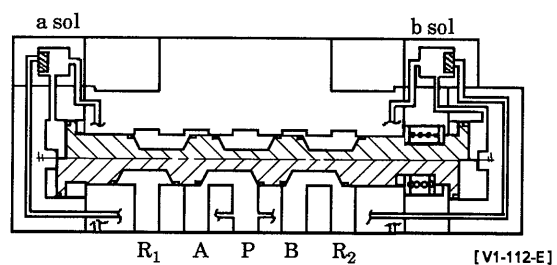


3) 4L2-4-FHG-D

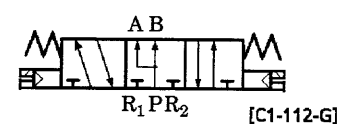
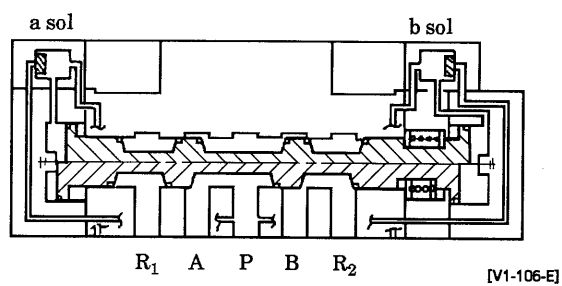


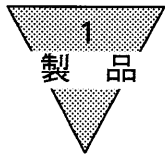


4) 4L2-4-FJG-D



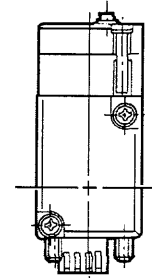
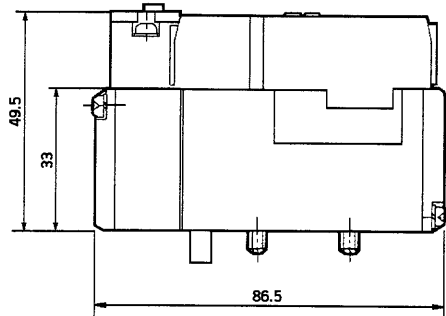
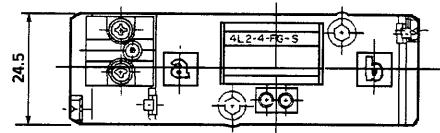
5) 4L2-4-FJG-D





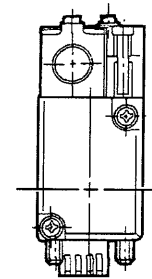
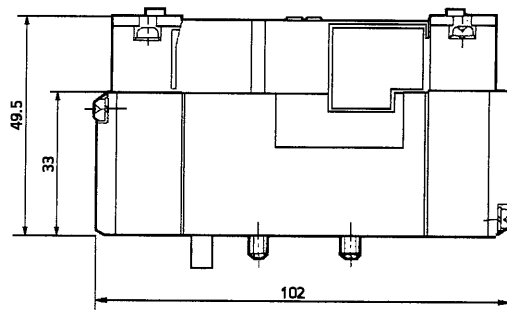
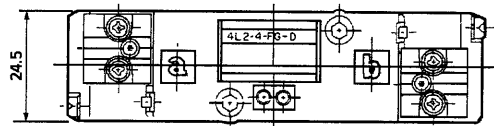
1.3 外形寸法

- 電磁弁単体
4L2-4-FG-S



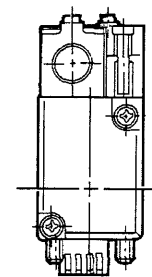
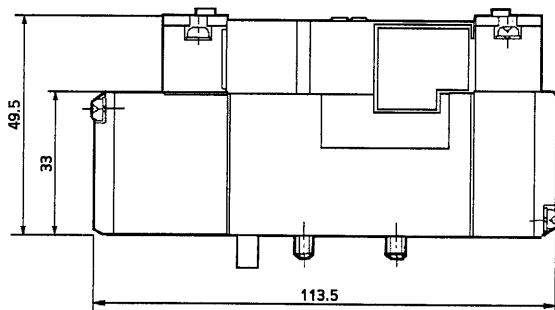
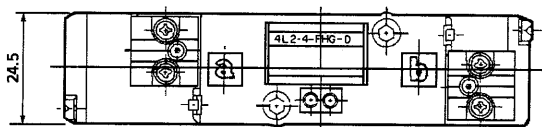
[V1-112-H]

4L2-4-FG-D

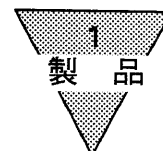


[V1-112-I]

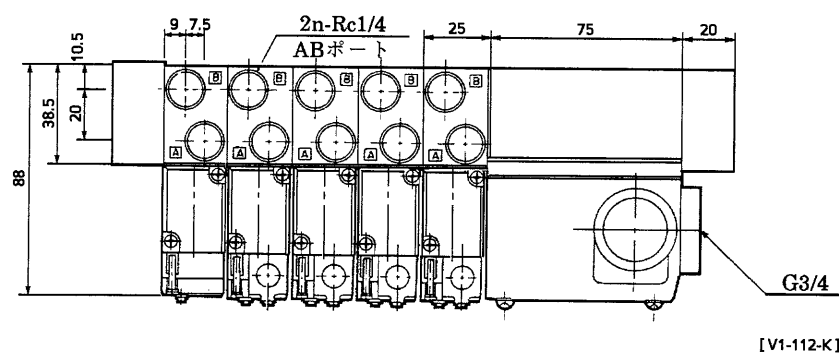
4L2-4-FHG-D
4L2-4-FJG-D
4L2-4-FIG-D



[V1-112-J]

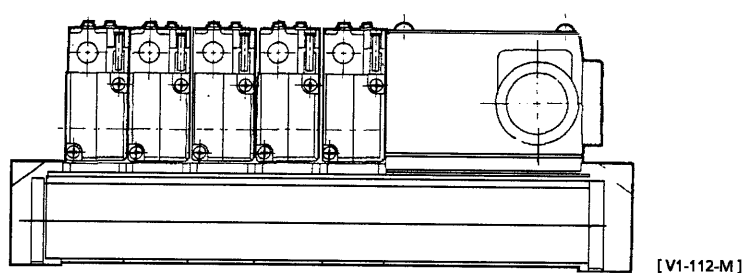
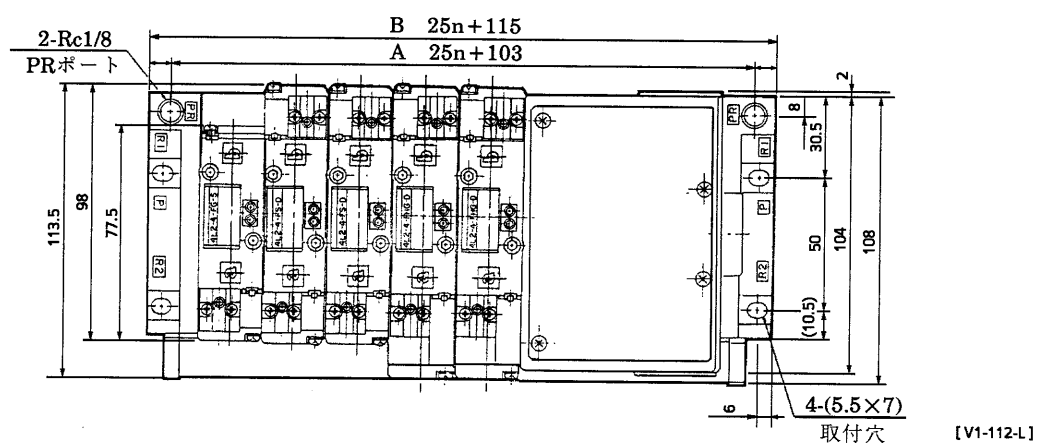


- マニホールド (電磁弁組付時)

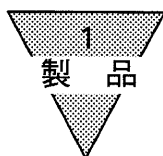


U側(上側)

① ——— ③ — ② — ① 連数

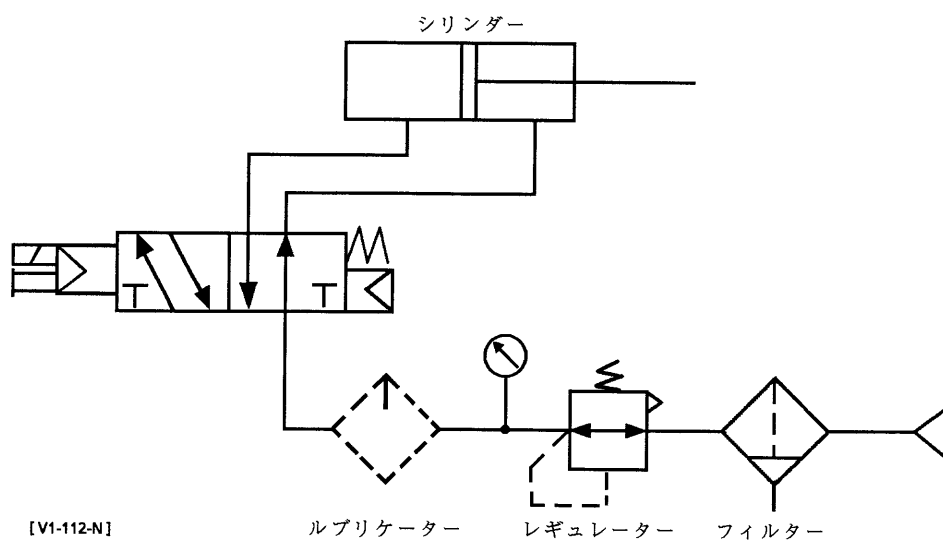


連数 記号	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A	153	178	203	228	253	278	303	328	353
B	165	190	215	240	265	290	315	340	365

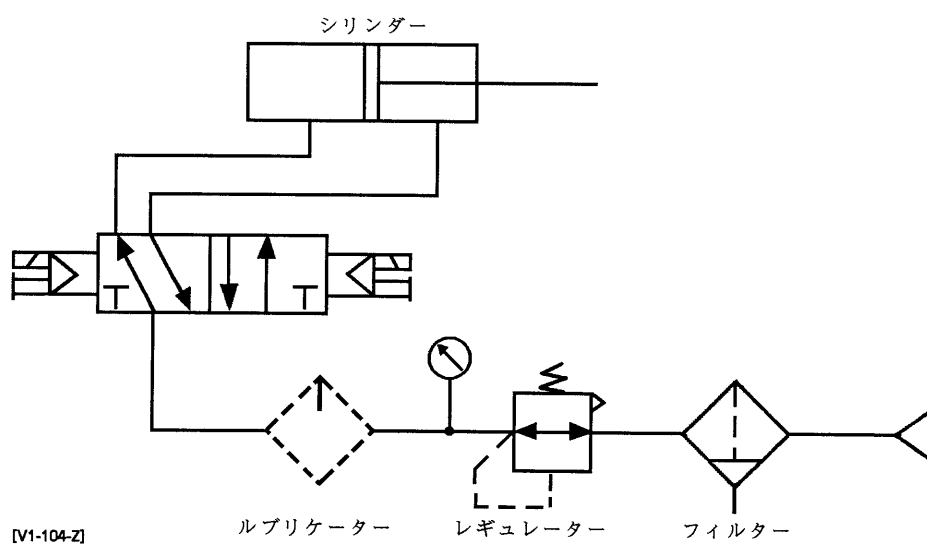


1.4 基本回路

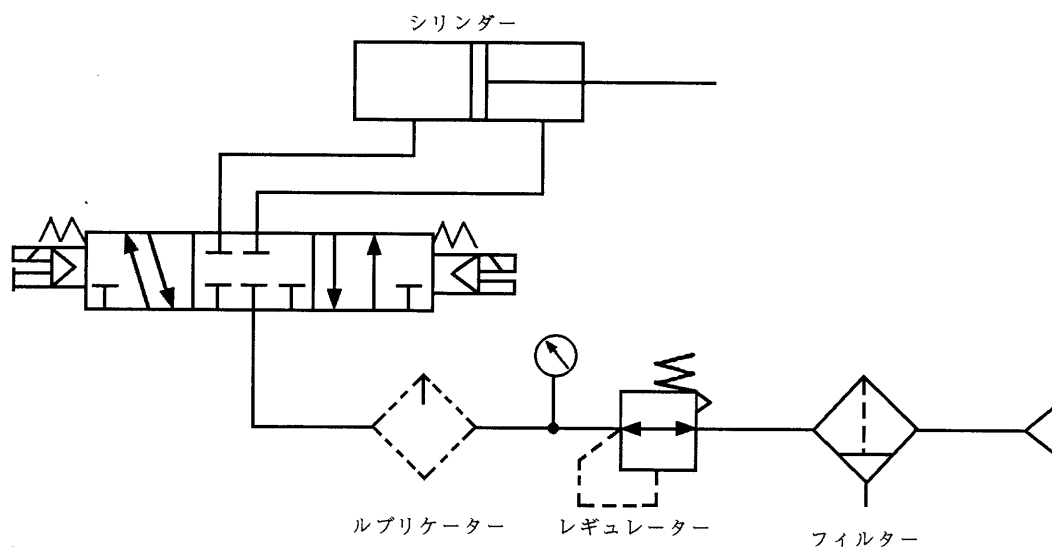
1) シングル



2) ダブル

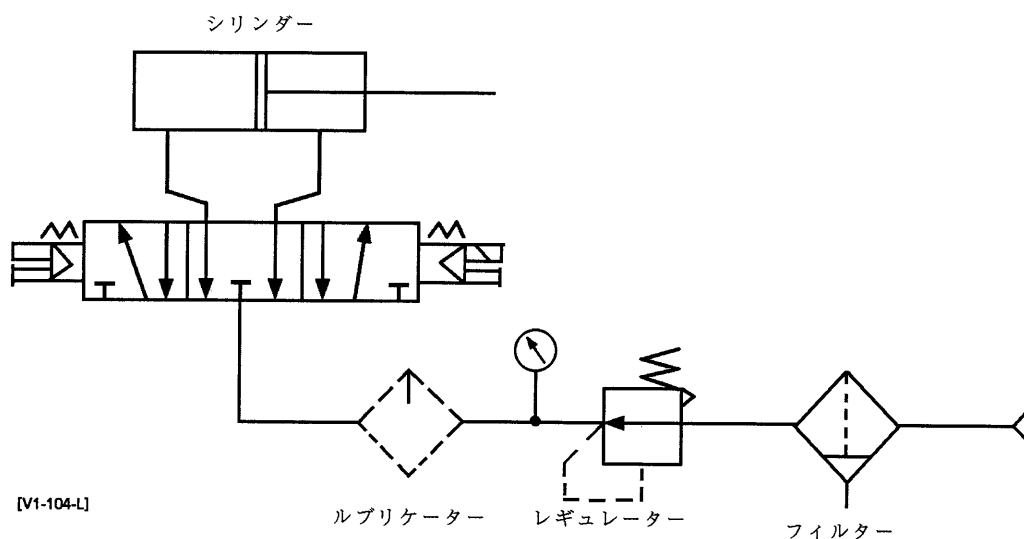


3) 3ポジションオールポートブロック

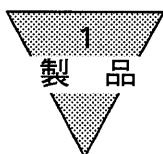


[V1-104-N]

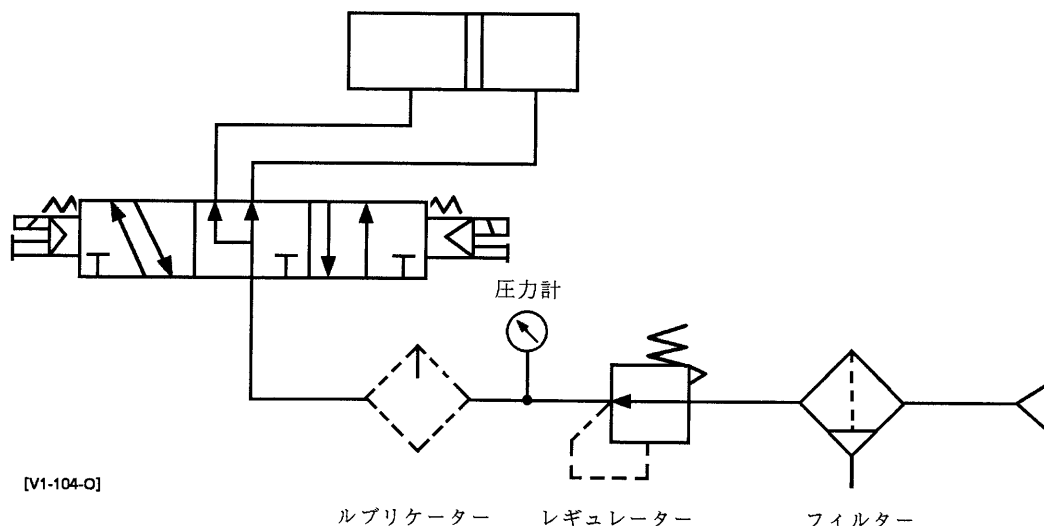
4) 3ポジションABR接続 (エキゾーストセンタ)



[V1-104-L]



5) 3ポジション PAB接続

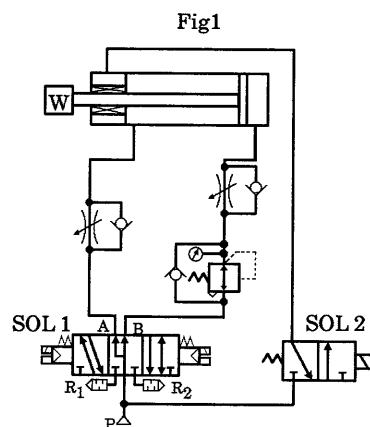


PAB接続はロッドレスの中間停止又はセルトップシリンダの中間停止につかいます。

セルトップシリンダの回路図

(1) 水平荷重の場合

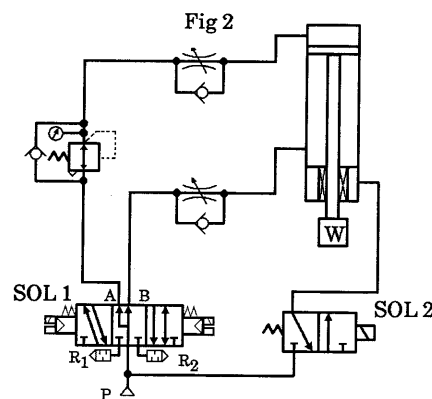
Fig1のように配置しますと停止時にピストンの両側に等圧がかかり、ブレーキ解放時にロッドの飛び出しを防止します。またヘッド側にチェック弁付レギュレータを取付け推力バランスをとる。



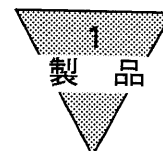
[V6-102-H]

(2) 下向垂直荷重の場合

Fig2ように荷重が下向きの場合ブレーキ解放時荷重方向にロッドが誤動作しますので、チェック弁付減圧弁をヘッド側に取付け、荷重方向の推力を小さくして、荷重バランスをとってください。

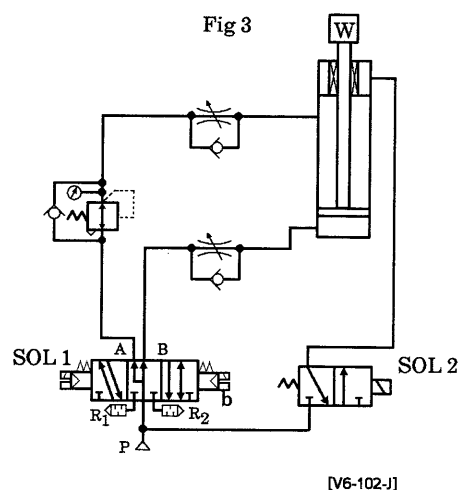


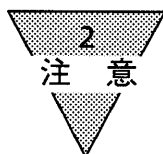
[V6-102-I]



(3) 上向垂直荷重の場合

Fig3のように荷重が上向きの場合ブレーキ解放時荷重方向にロッドが誤作動しますので、チェック弁付減圧弁をロッド側に取り付け、荷重方向の推力を小さくして、荷重バランスをとってください。



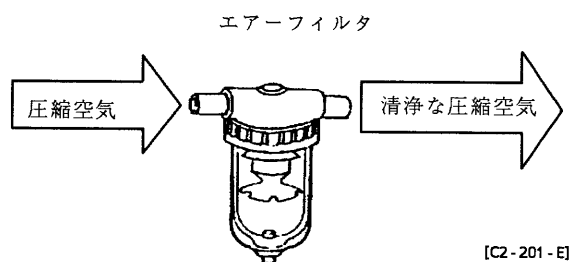


2. 注意事項

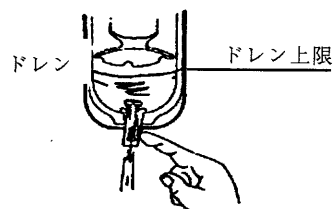
2.1 使用流体について

使用する圧縮空気はエアーフィルタを通した清浄で水分の少ないドライエアにして下さい。水・酸化オイル・タール・異物等ドレンを含んだエアは空気圧機器の信頼性を著しく低下させる原因となります。

- 1) フィルタはろ過度 ($5\mu\text{m}$ 以下が望ましい)、流量、取付姿勢、位置に注意し、溜まったドレンは定期的に、指定ラインを超える前に排出して下さい。
- 2) ルブリケータにつきましては4L2-4型は無給油使用が可能ですので必要ありません。他の機器の関係上、ルブリケータを取付ける場合には、潤滑油はタービン油第一種、ISO VG32相当品を使用して下さい。
- 3) コンプレッサオイルの炭化物によるタール、カーボンの回路混入を抑え、空気圧機器の性能を十二分に発揮する為にもコンプレッサの保守、点検は確実に行って下さい。



[C2-201-E]



[C2-201-F]

3. 操作に関する事項

3.1 動作説明

1) 2位置・シングルソレノイド

ソレノイドONでシリンダが前進(後退)、ソレノイドOFFでシリンダが後退(前進)します。

非通電時

$P \rightarrow B$

$A \rightarrow R_1$

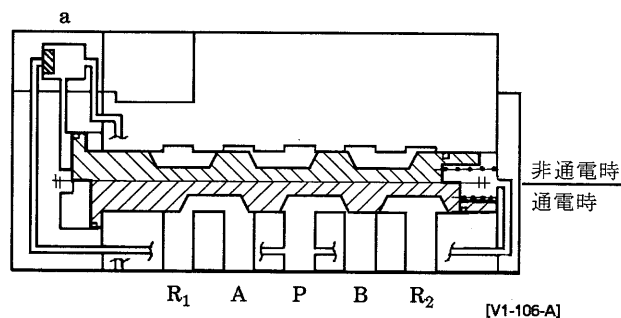
$R_2 \rightarrow \text{止}$

通電時

$P \rightarrow A$

$B \rightarrow R_2$

$R_1 \rightarrow \text{止}$



2) 2位置・ダブルソレノイド

一方のソレノイドONシリンダが前進(後退)、OFFで切換え前の状態を保持、他方のソレノイドONでシリンダが後退(前進)します。自己保持用(停電時にもシリンダは動かない)として使用できます。

aソレノイド通電時

$P \rightarrow A$

$B \rightarrow R_2$

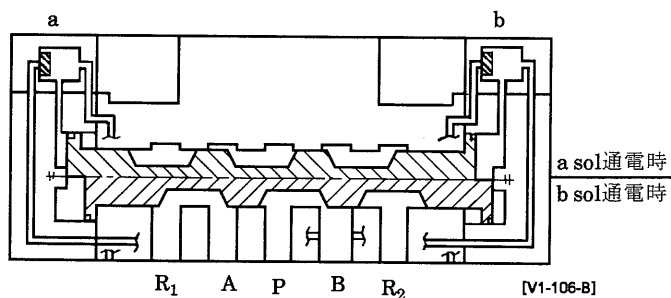
$R_1 \rightarrow \text{止}$

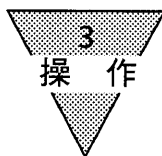
bソレノイド通電時

$P \rightarrow B$

$A \rightarrow R_1$

$R_2 \rightarrow \text{止}$





3) 3位置・オールポートブロック

シリンダが中間位置で停止 (OFF時) します。停止後、シリンダはロックされ、外力による作動はできません。

両ソレノイド非通電時

P, A, B, R₁, R₂各々止

aソレノイド通電時

P → A

B → R₂

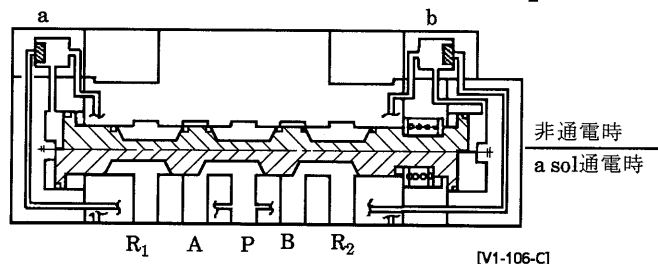
R₁ → 止

bソレノイド通電時 (下図)

P → B

A → R₁

R₂ → 止



4) 3位置・ABR接続

中間停止機能は、オールポートブロックと同様ですが、停止後シリンダは外力による作動ができます。

両ソレノイド非通電時

P → 止

A → R₁

B → R₂

aソレノイド通電時

P → A

B → R₂

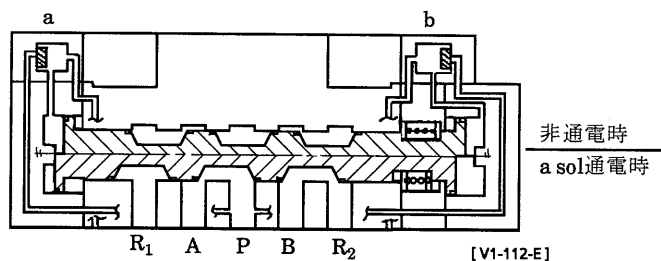
R₁ → 止

bソレノイド通電時 (下図)

P → B

A → R₁

R₂ → 止



5) 3位置・PAB接続

中間停止機能は、オールポートブロックと同様ですが、中間位置でC1・C2加圧されますので、シリンダ面圧が同じでないと動いてしまいます。

両ソレノイド非通電時

P → A・B

R₁ → 止

R₂ → 止

aソレノイド通電時

P → A

B → R₂

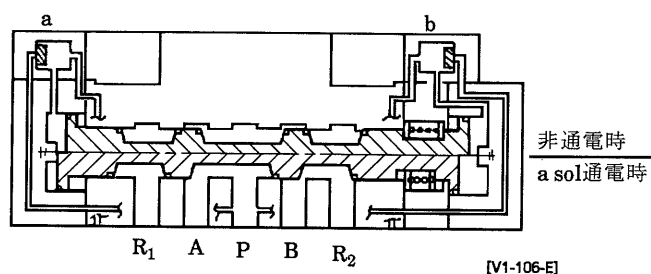
R₁ → 止

bソレノイド通電時 (下図)

P → B

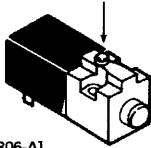
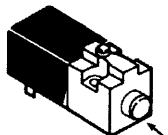
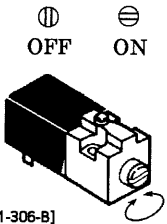
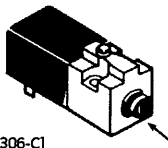
A → R₁

R₂ → 止

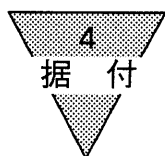


3.2 電気信号以外でこの電磁弁を動作させたい場合

電磁弁の所の手動装置を押して下さい。

名 称	上方向ノンロック式	横方向ノンロック式	横方向ロック式	防塵カバー付 ノンロック式
オプション記号	M6	M0	M1	M4
形 状	 [V1-306-A] $\phi 2$ 以下のロッドで押す	 [V1-304-B] $\phi 3$ 以下のロッドで押す	 [V1-306-B] (－)ドライバで90°回転	 [V1-306-C] 手で押す

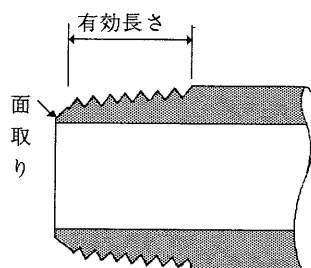
- 2ポジションタイプには、ニュートラルポジションはありません。



4. 据付に関する事項

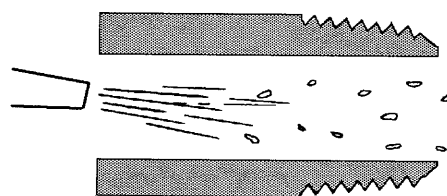
4.1 配管について

- 1) フィルタ以降の配管材は亜鉛メッキ管・ナイロンチューブ・ゴム管など、腐蝕しにくいものをご使用ください。
- 2) シリンダと電磁弁をつなぐ配管は、シリンダが所定のピストン速度が出るだけの有効断面積があるものをご使用ください。
- 3) 管内の錆・異物・およびドレン除去のためフィルタはできるだけ電磁弁のIN側近くに100メッシュ程度のストレーナ(フィルタ)を必ず取りつけてください。
- 4) ガス管のねじ長さは有効ねじ長さを守ってください。また、ねじ部先端より1/2ピッチほど面取り仕上げしてください。



[CO-400-A]

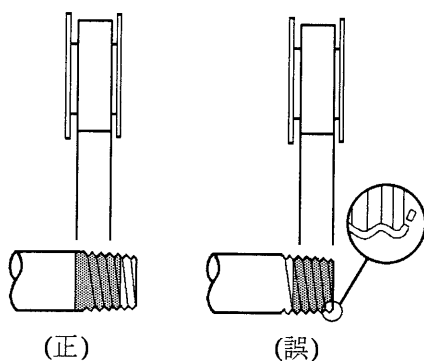
- 5) 配管前に管内の異物・切粉等を除去のため、管内のフラッシング(エアー吹き)をしてください。



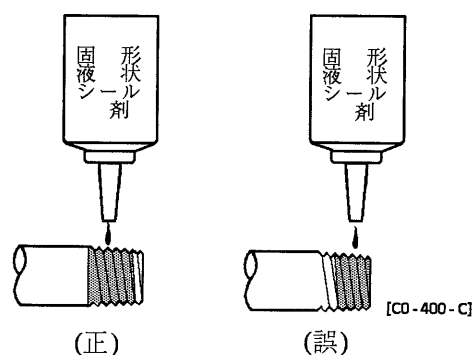
[CO-400-B]

- 6) 配管にはシールテープ又はシール剤を用いますが、ねじ先端から2山程控えて使用し、管内や機器内部にテープ屑やシール剤の残材が入りこまないように気を付けてください。

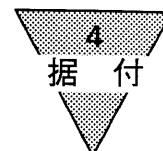
●シールテープ



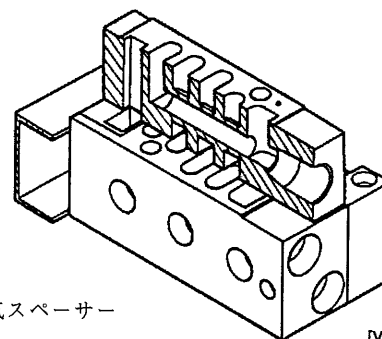
●固形・液状シール剤



[CO-400-C]



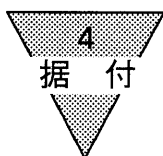
- 7) PRポートにプラグをはめると、バルブに誤動作が生じますので必ず開放して下さい。
- 8) フィルタは必ず入れて下さい。そしてもし必要ならばバルブの側にルブリケーター (タービン油1種 ISO VG32) を入れて下さい。
- 9) 配管に際して、振動やショックの少ないところを選んで下さい。
- 10) 配管後、エアーをかけて各所からもれないところをチェックして下さい。
- 11) メンテナンスサービスする場合の工具のスペースをあけておいて下さい。
- 12) マニホールドに3位置A・B・R接続や、3ポート弁使いをして単動シリンダを駆動すると背圧により隣のシリンダが飛び出しをする事があります。飛び出し防止方法として、この回路の電磁弁のみ単品使用又は、個別排気スパーサの使用をおすすめします。



単独排気スパーサ

[V1-404-A]

- 13) LMF0の接続口径Rc1/4 (02) は締付トルク10N・m以下にして下さい。



4.2 配 線

LMF0マニホールドは搭載されるバルブ4L2-4との電気接を簡単に行えるようになっております。バルブとマニホールドの接続は、出荷時にマニホールド各連から端子台までの配線は完了しておりますのでマニホールドにバルブを載せていただくだけです。

1) 端 子

(1) 集中ターミナル LMF0-T0

端子台にはソレノイド位置を示すよう

にa、bと記入されています。

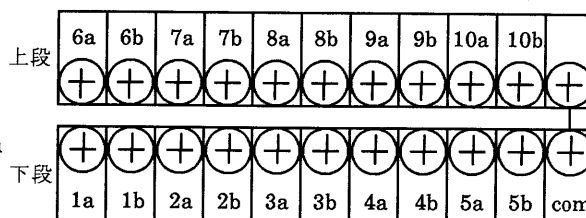
DCの場合も+COM、-COMどちらでも御使用いただけます。

ケーブルは、JISC3312(600Vビニル絶縁ビニルケーブル)の芯線断面積0.75mm²又は1.25mm²を御使用下さい。

ケーブルの先端には接触不良及び外れ防止のため、圧着端子を御使用下さい。

(例：1.25-3.7 1.25-M3 1.25-M4 内径M3.5 外径φ7以内のものを御使用下さい。)

ターミナル端子配置図 (TOP VIEW)



結線ビス : M3.5

[V1-404-B]

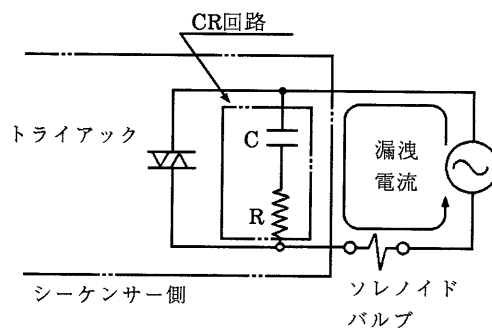
2) 漏洩電流の制限

スイッチング素子から発生するサージ電圧の吸収にCR回路を組込んでいるシーケンサなどを使用する場合には漏洩電流が流れ、電磁弁の作動に悪影響を与えますので漏洩電流は右記以下におさえて下さい。

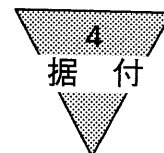
AC100V 3mA以下

AC200V 1.5mA以下

DC24V 1.8mA



[V1-302-C]



4.3 取 付

1) マニホールド取付姿勢

電磁弁の取付姿勢は特に規制はありませんが、平面上の取付け、水平取付けが最良の取付姿勢です。

マニホールドの取付は両端のマニホールドブロックが平衡になるように取付けて、取付ボルトは均等に締付けて下さい。

2) 4L2-4バルブ本体の取付け、取外し

4L2-4シリーズは電磁弁本体とサノプレートの中に電気の端子がありますので、取付け、取外しする際は、真下・真上に動かしてください。斜めに動かすとトラブルの原因になります。

3) 場所・雰囲気

周囲に塵埃などが多い場合は、PR及びRポートにサイレンサ又はエルボ継手を下向きに取付けて塵埃が入らないよう保護して下さい。

水滴等が直接電磁弁にかかる場合は、カバーやパネル内に設置して保護して下さい。

取付場所については、振動 50m/s^2 、衝撃 300m/s^2 以上の所への取付けは避けて下さい。

4) 凍結防止について

屋外等に電磁弁を付けますと、冬期に凍結し、電磁弁作動不良の原因となります。凍結防止を配慮ください。(夜停止時ドレンを抜く方式又は除湿された空気を使用する等)

5.1 分解

内蔵されているスプール組立**26**とパイロット弁本体**24**は組立位置及び向きが決まっていますので分解後は特に注意して下さい。

- ㊦ ボディカバー**12**を取る時、長手方向サイドの爪を上げる。
- ㊧ マイクロゾール**3**を取る時、取付ビス**2**を外す。
- ㊨ コイルコネクタ**15**を取る時、取付ビス**11**を外す。
- ㊩ 両側のキャップ**16**を取る時、取付ビス**29**、**18**を外す。この時内蔵物がボディー**24**から出てくる。またパイロット弁本体**24**がピストン**19**をはめたまま外れる。
- ㊪ スプール**26**を押し出す。

Exploded view diagram of a mechanical assembly. The diagram shows various components numbered 1 through 30. The assembly includes a main housing (1), a piston (19), a spring (17), a coil connector housing (15), a cap (16), a spring (17), a spring metal assembly (18), a piston (19), a MY pack (20), a pilot valve body (21), a reset valve housing (22), a plate (23), a plate (24), a plate (25), a plate (26), a plate (27), a plate (28), and a plate (29). The diagram also shows a cross-section of the assembly with a piston (19) and a spring (17) inside a housing (1). The legend on the right lists the parts and their names in Japanese.

15	コイルコネクタハウジング
16	キャップ
17	スプリング
18	ばね座金組込み付 十字穴付なべ小ねじ
19	ピストン
20	MYパッキン
21	パイロット弁本体
22	リセブタクルハウジング
23	プレート
24	プレート
25	プレート
26	プレート
27	プレート
28	プレート
29	プレート

[VI-512-A]

1	キャップガasket	8	パイロットフィルタ	23	ラック
2	ばね座金組込み付 十字穴付なべ小ねじ	9	端子ガasket	24	ボディ
3	マイクロプール	10	ランプガイド	25	スプールパッキン
4	マイクロプール用ガasket	11	ばね座金組込み付 十字穴付なべ小ねじ	26	スプール(2位置)
5	パイ弁用ガasket	12	ボディカバ(シングル用)	27	スプールOリング
6	コネクタハウジングガasket	13	コイルコネクタ組立	28	製品銘板
7	六角穴付ボルト	14	ボディカバプレート	29	ばね座金組込み付 十字穴付なべ小ねじ
				30	ボディガasket

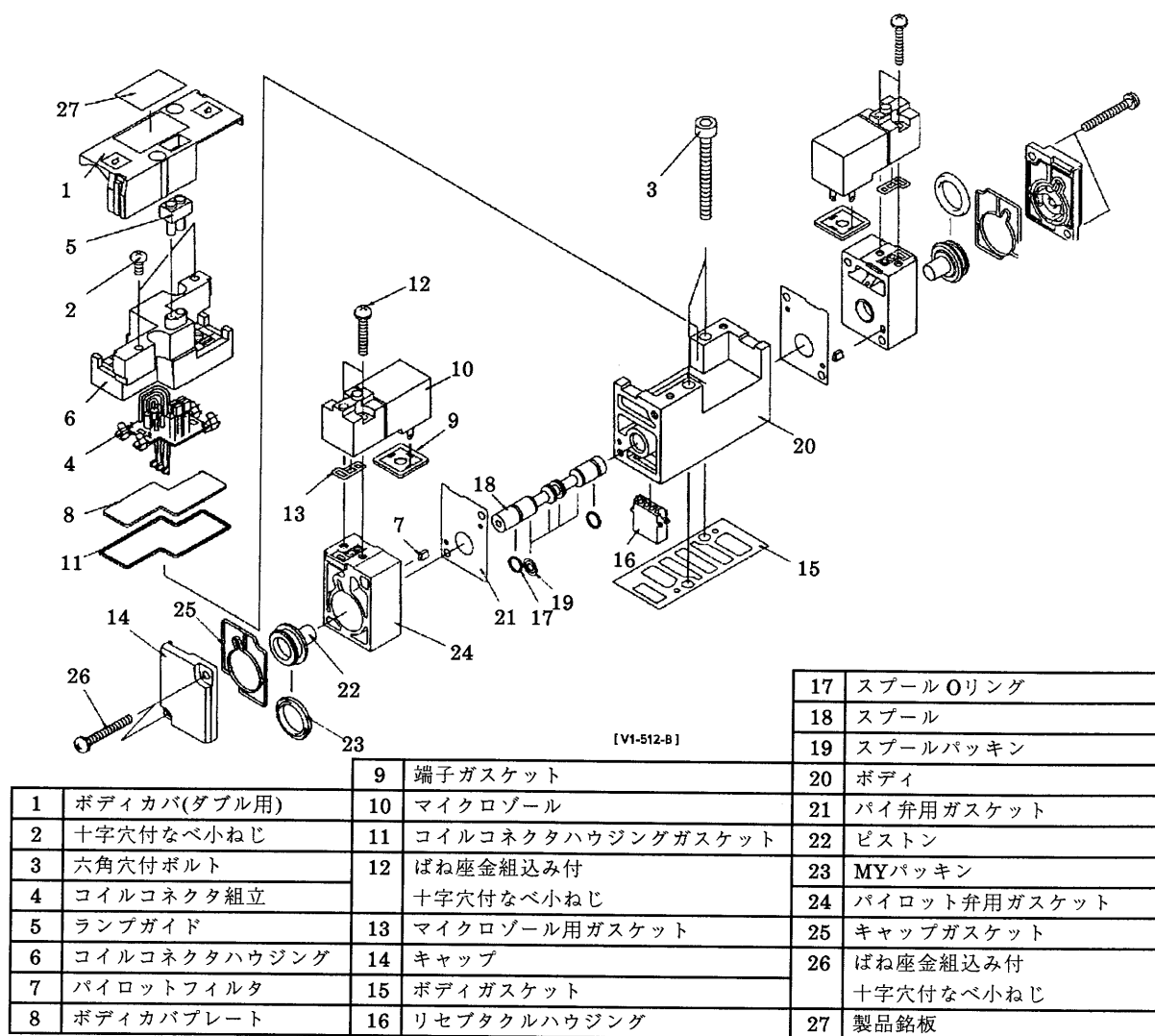
2) 2ポジションダブル

内蔵されているスプール組立18は組立位置及び向きが決まっていますので分解後は特に注意して下さい。

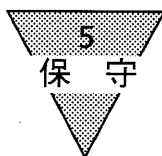
(1) バルブの分解

- ㊦ ボディカバー1を取る時、長手方向サイドの爪を上げる。
- ㊧ マイクロゾール10を取る時、取付ビス12を外す。
- ㊨ コイルコネクタ6を取る時、取付ビス2を外す。
- ㊩ 両側のキャップ14を取る時、取付ビス26を外す。この時内蔵物がボディー20から出てくる。またパイロット弁本体がピストン22をはめたまま外れる。
- ㊪ スプール18を押し出す。

- (2) ユニートを組立てる前に、ホコリの少ない場所でピストン、スプール等に付着したゴミは落として下さい。摺動部にはリチウム石けん基グリスを少量塗布することにより、常にベストな状態で御使用していただけます。



1	ボディカバー(ダブル用)	9	端子ガスケット	17	スプール Oリング
2	十字穴付なべ小ねじ	10	マイクロゾール	18	スプール
3	六角穴付ボルト	11	コイルコネクタハウジングガスケット	19	スプールパッキン
4	コイルコネクタ組立	12	ばね座金組込み付 十字穴付なべ小ねじ	20	ボディ
5	ランプガイド	13	マイクロゾール用ガスケット	21	パイ弁用ガスケット
6	コイルコネクタハウジング	14	キャップ	22	ピストン
7	パイロットフィルタ	15	ボディガスケット	23	MYパッキン
8	ボディカバープレート	16	リセブタクルハウジング	24	パイロット弁用ガスケット
				25	キャップガスケット
				26	ばね座金組込み付 十字穴付なべ小ねじ
				27	製品銘板



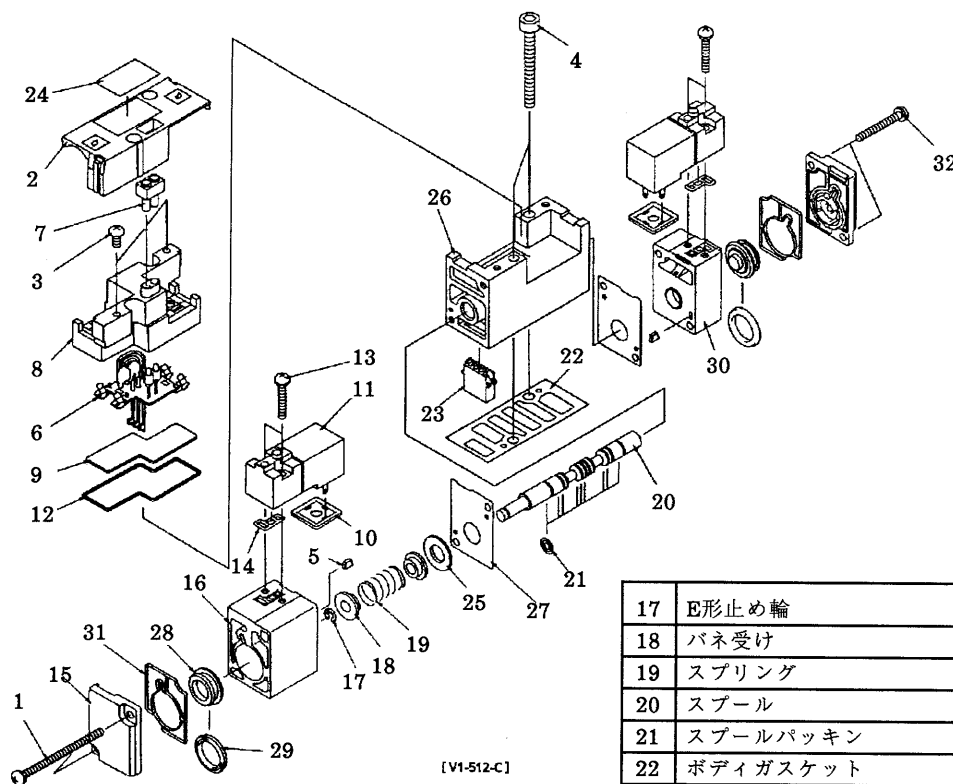
3) 3ポジション

内蔵されているスプール20、パイロット弁本体(3ポジション用)16は、取付方向が決まっていますので分解後は特に注意してください。

(1) バルブの分解、組立

- ㊦ ボディカバー2を取る時、長手方向サイドの爪を上げる。
- ㊧ マイクロゾール11を取る時、取付ビス13を外す。
- ㊨ コネクタハウジング8を取る時、取付ビス3を外す。
- ㊩ 両側のキャップ15を取る時、取付ビス1、32を外す。この時内蔵物がボディー27から出てくる。またパイロット弁本体16、30がピストン28をはめたまま外れる。
- ㊪ スプール20をスプリングのついていない側から押し出す。

- (2) ユニートを組立てる前に、ホコリの少ない場所でピストン、スプール等に付着したゴミは落として下さい。摺動部にはリチウム石けん基グリスを少量塗布することにより、常にベストな状態で御使用していただけます。



1	ばね座金組込み付 十字穴付なべ小ねじ	9	ボディカバープレート	17	E形止め輪
2	ボディカバー(ダブル用)	10	端子ガスケット	18	バネ受け
3	十字穴付なべ小ねじ	11	マイクロゾール	19	スプリング
4	六角穴付ボルト	12	コネクタハウジングガスケット	20	スプール
5	パイロットフィルタ	13	ばね座金組込み付十字穴付なべ 小ねじ	21	スプールパッキン
6	コイルコネクタ組立	14	マイクロゾール用ガスケット	22	ボディガスケット
7	ランプガイド	15	キャップ	23	リセプタクルハウジング
8	コネクタハウジング	16	パイロット弁本体(3ポジ)	24	製品銘板
				25	スペーサ
				26	ボディ
				27	パイ弁用ガスケット
				28	ピストン
				29	MYパッキン
				30	パイロット弁本体
				31	キャップガスケット
				32	ばね座金組込み付 十字穴付なべ小ねじ

4) LMF0-T0 (集中ターミナル)

(1) 分解

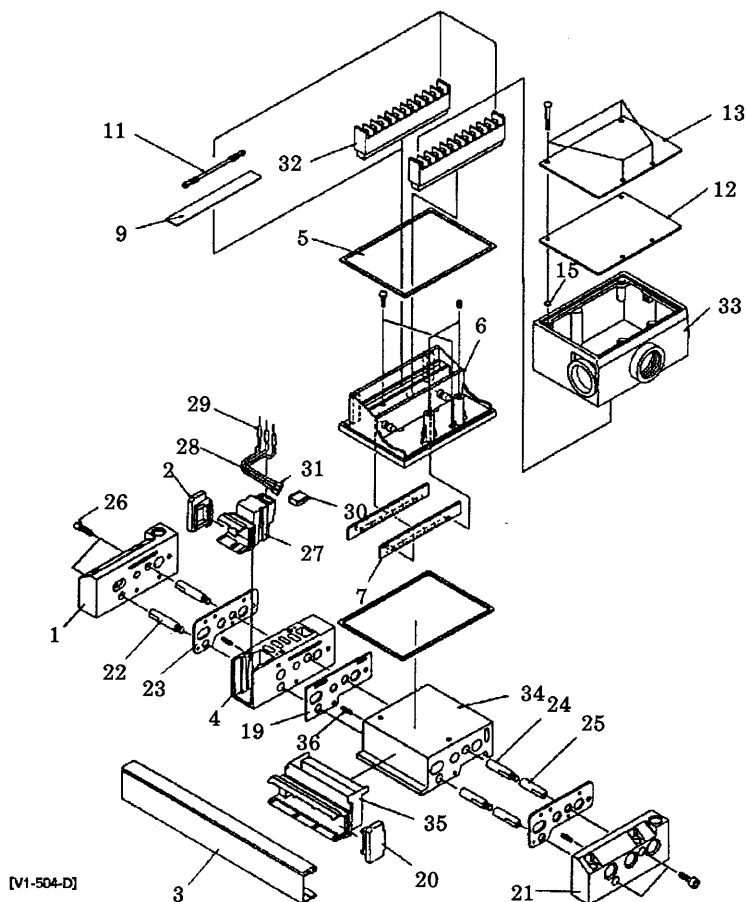
連数と配線順序はあらかじめ端子BOX基板7の位置と対応させてあり、差しちがいをするとバルブの誤動作の原因となりますので十分注意してください。

㊦ 配線カバー3を外す時は、サブプレート4と配線カバー間に⊖ドライバーを差し込み軽くひねって下さい。

㊩ 各連ごとにばらす場合は、ボルト26を外し、一連ずつタイロッド22、24から抜いていって下さい。

(2) 組立

各連から端子箱まで集められた配線28、29、30、31は、端子BOXプレート6上に刻まれたバルブ連番の印と対応するよう位置を合わせて端子BOX基板7に差し込んでください。

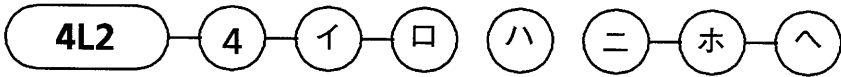


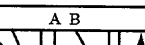
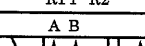
1	サブエンドL	13	端子BOXフタ	27	ピンコンタクトハウジング
2	ピンコンタクトハウジングエンドL	15	Oリング	28	フラットケーブル
3	配線カバー	19	マニホールドガスケット	29	ピンコンタクト
4	サブプレート	20	ピンコンタクトハウジングエンドR	30	ハウジング
5	端子BOXガスケット	21	サブエンドR	31	コンタクト
6	端子BOXプレート	22	タイロッドL	32	端子台
7	端子BOX基板	23	マニホールドガスケット	33	端子BOXカバー
9	防塵キャップ (1~5連用)	24	タイロッドM	34	端子BOXサブベース
11	リード線	25	タイロッドR	35	端子BOXボトムフレーム
12	絶縁ガスケット	26	六角穴付ボルト	36	スプリングピン



6. 形番表示方法

- 電磁弁単体



① 流路記号		② ソレノイド数		③ 定格電圧		④ 通電表示ランプの有無	
FG		S	シングルソレノイド	1	AC100V	無記号	無し
	FHG	D	ダブルソレノイド	2	AC200V	N	ランプ付サージキラー
				3	DC24V		
				4	DC12V		
9	その他(電圧指定)						
FJG				注：記号9(その他電圧指定)時は形番末尾に指定電圧を追記ください。			
FIG				AC100VコイルはAC110V (60Hz)、 AC200VコイルはAC220V (60Hz)で使用できます。			

⑤ 手動装置	⑥ サブプレートの有無
M6 上方向ノンロック式	無記号 サブプレート無し
M0 横方向ノンロック式	

パイロット弁形番

⑦ 手動装置
M6 4L2-4-P5032M6BR-⑦
M0 4L2-4-P5032M0BR-⑦

- マニホールド(電磁弁は含みません)



① 連数	② A・Bポート接続口径	③ P・R1・R2ポート接続口径
1 1連	01 Rc1/8 (右側片側配管)	02B Rc1/4 (上下両側配管)
2 2連	02 Rc1/4 (右側片側配管)	02D Rc1/4 (下側配管)
3 3連	C4 ワンタッチ継手φ4 (右片側配管)	02U Rc1/4 (上側配管)
4 4連	C6 ワンタッチ継手φ6 (右片側配管)	C8B ワンタッチ継手φ8 (両側配管)
5 5連	01Z Rc1/8 (裏配管)	C8D ワンタッチ継手φ8 (下側配管)
6 6連	※ 混合 (受注仕様書必要)	C8U ワンタッチ継手φ8 (上側配管)
7 7連	注：※記号についてはご相談ください。 C4、C6はワンタッチ継手GWS 4/6-8をねじ込みます。	注：C8はワンタッチ継手GWS8-8をPポートにねじ込みます。
8 8連		
9 9連		
10 10連		

④ 電気接続
T0U 集中ターミナル
T0D 集中ターミナル

注：T0Uは集中ターミナルがU側につきます。
T0Dは集中ターミナルがD側につきます。